

寫眞週報



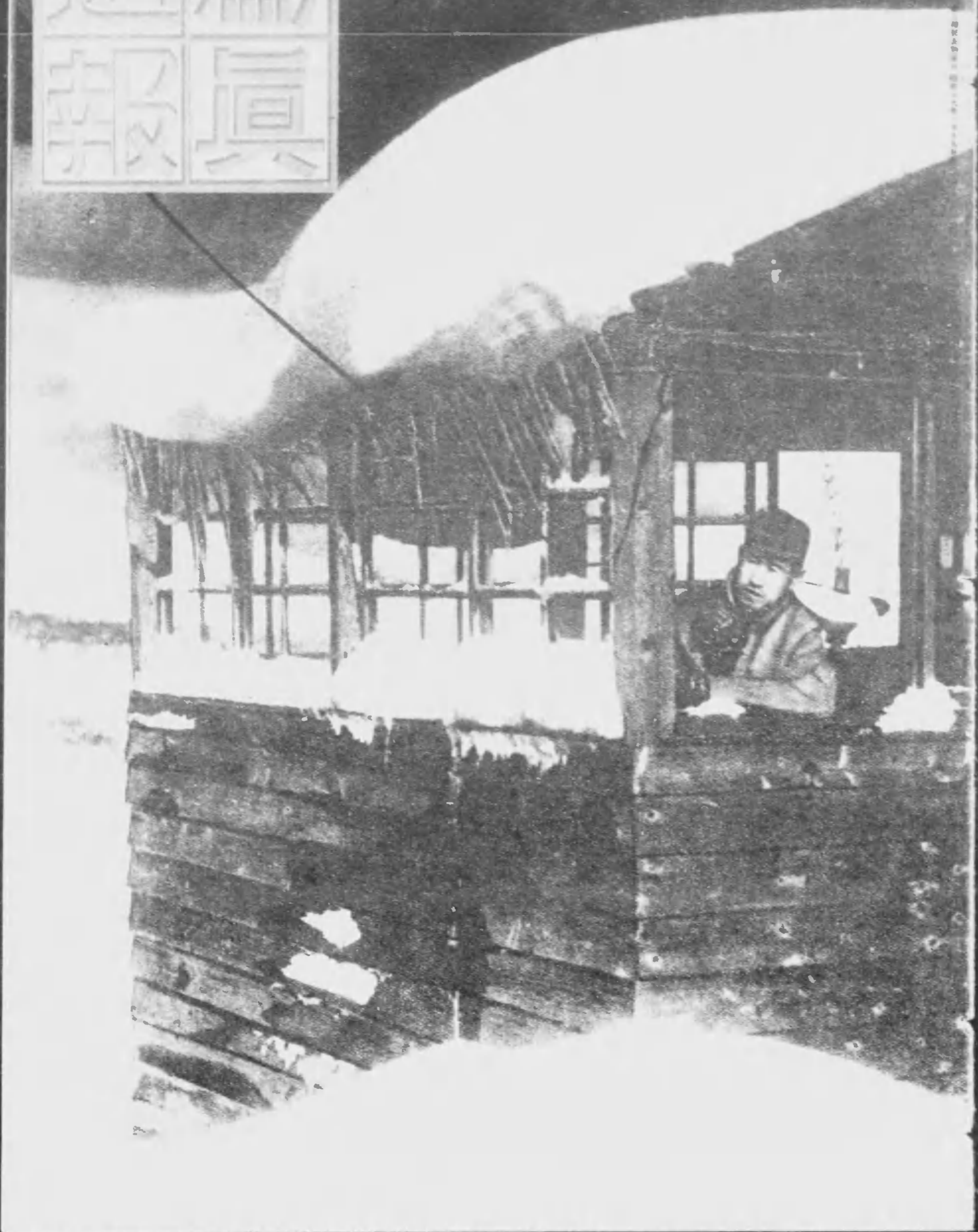
空襲に豫告なし

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

情 報 局 編 輯

一 月 十 九 日 第 三 百 五 十 七 號

真 實 週 報



空襲は必ずある
君の、あなたの、用意はいゝか

いつどこに爆弾がおちても

うろたへぬ用意
戦ふ用意は

本土にヒ首を
翳^{かざ}さんとする

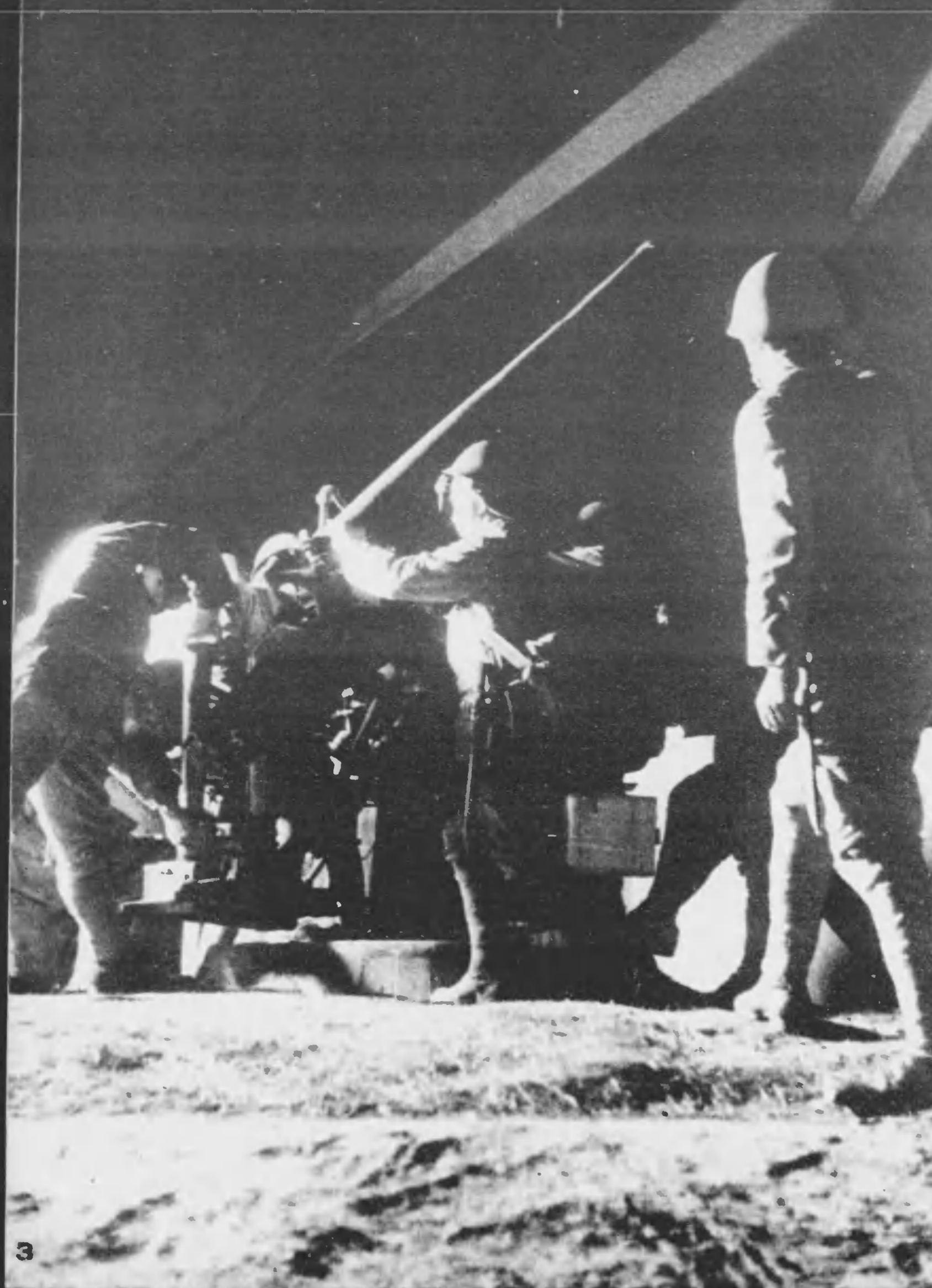
敵機群を邀へて

神州を護るは

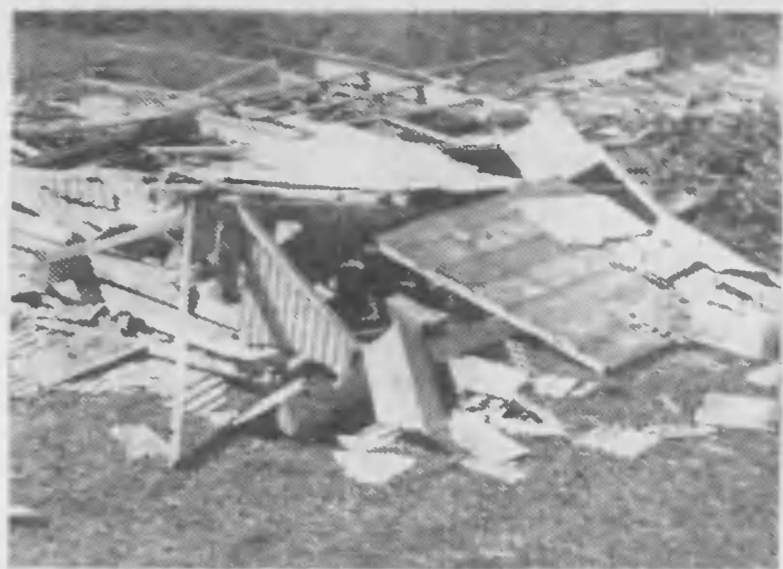
たゞこの用意にあり

断じて皇土を護り抜かう

しんくたる空襲は軍艦も沈りつける。しかも防空隊の黙々たる訓練は
つぶやかれてゐるのだ。敵機もしわが砲口をみださむか、隣時にして撃
破し去るであらう。われは、病室の一月の深夜も、必殺の無情をこ
めてきびしい訓練をつづける防空隊の活動を忘れてはならない



スレートは、よりもたややく壊れる(地下三メートルに降った二五〇キロ 距離三メートル)



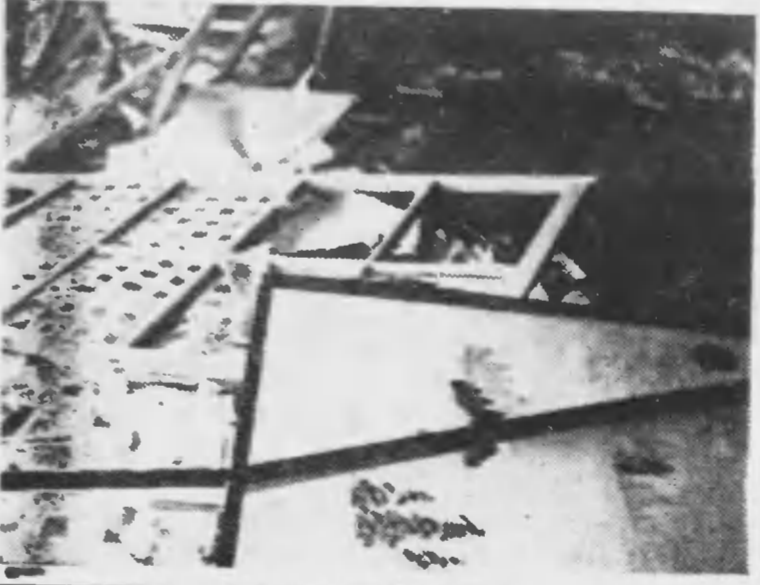
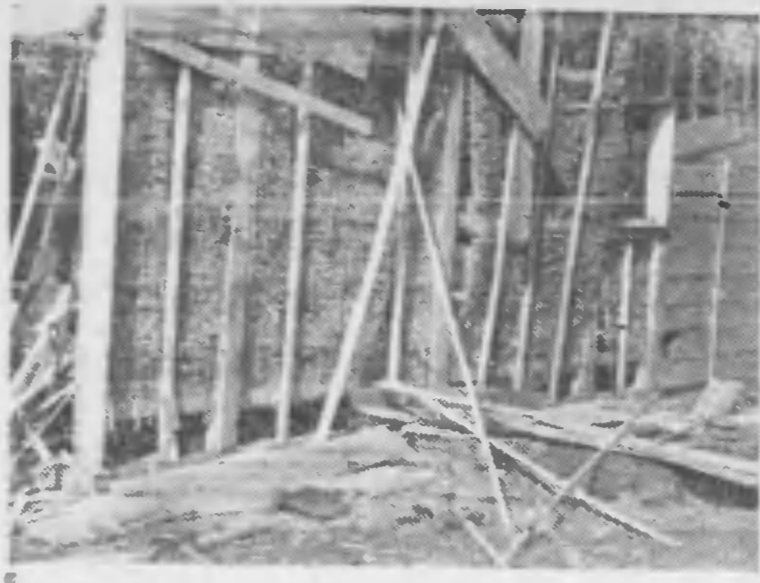
下見板(家壁の中)は、弱いもの(二五〇キロ)より、強いもの(三〇〇キロ)に吊上げた二〇〇キロ(距離四メートル)

爆風

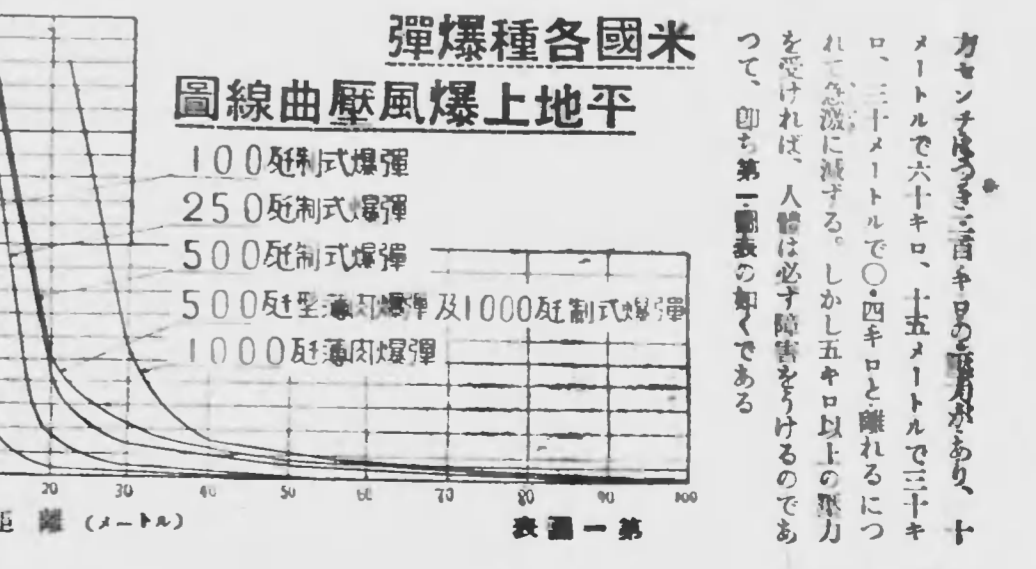
爆風は、すべて信管で炸薬に着火し、爆発する。普通信管は一つであるが、大型爆弾では不発を考慮して、もう一つ信管がついており、第一信管に爆発するやうにしてある。

この爆風に際して、竹藪は一秒の数千分の一といふ短時間の非常に速度の高い勢力の大きい数千倍の爆發力に變化する。その爆發のために物の壊れる範圍を威力圏といふ。土の中で爆發するとその範圍内の土はすつかりどろどろ入り、土は吹き上げられて後に大きな穴がまき、舞ひ落ちた土で底が少し淺くなり漏斗形になる。これに漏斗孔であつて、敵が本土空襲に使ふと考へられる五百

ガラスは必ず壊れると思つた方がよい。紙貼りをしても、破片の飛散が助けるだけだ。厚い布を下げるか障子紙を面に貼つたものが一番よく、次は日本紙を井桁形に貼つた方がよい(地上三メートルに吊上げた二〇〇キロ 距離四メートル) 一大型爆弾では二五〇キロ(距離三〇〇メートル)までのガラスは壊れる



ボンド(約二五〇キロ)爆弾では、その重量が十二メートルにも達する。炸薬が爆発した瞬間の物凄い膨張力のために周りの空気が急に壓縮されて、密度の大きい、威力の非常に高い部分ができる。その高圧の部分だけが非常な速度で傳はつてゆく。これが爆風である。爆風の速度は、だいたい爆発點附近では毎秒七千メートルといふ驚くべき速度であるが、十メートル、二十メートルと進むにつれて急激に速度は減するものゝ、百キロ爆弾で百メートルを越してなほ、音の速度毎秒三百四十メートルよりも速い。音よりも速いといふことで、爆風が如何に速いものか窺はれよう。また爆風は非常な壓力をもつて、物に作用する。例へば五百ボンド(約二五〇キロ)爆弾では、爆発點から五メートル離れても一平方



爆風による木造建物の破壊をうける程度は

爆風圧(キロ/平方センチ)

100 から 200
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000

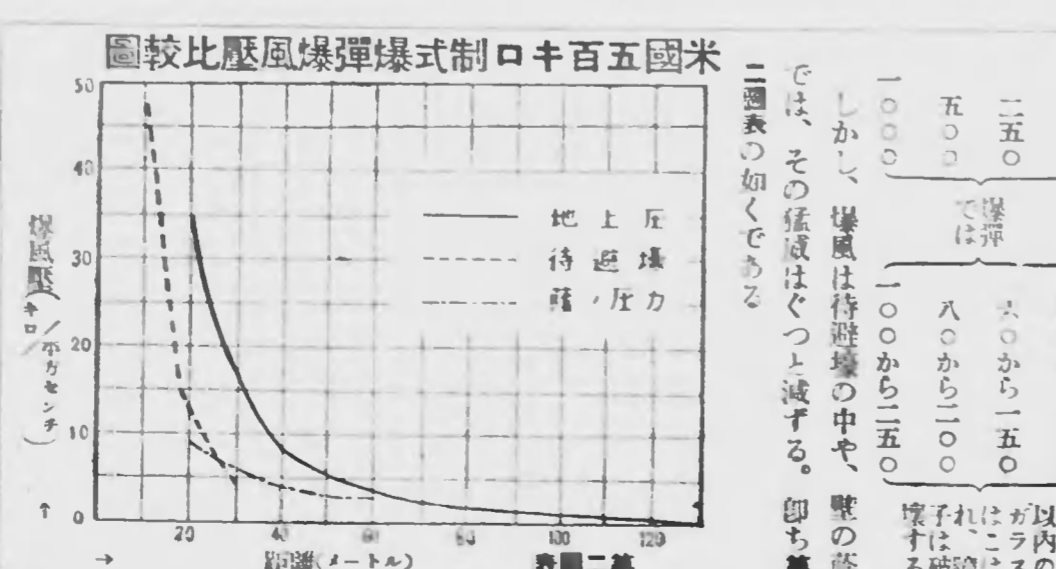
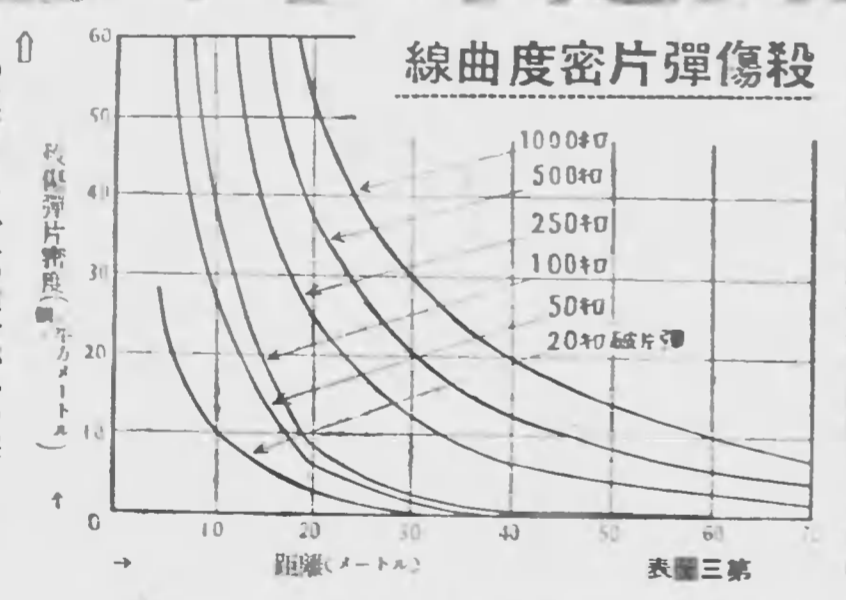
爆風で
爆彈から
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000

爆風で
爆彈から
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000

爆風で
爆彈から
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000

弾片

爆風に劣らず怖るべき威力を發揮するものは、炸薬を包む外殼の破片、即ち弾片である。弾片も爆風と同じく毎秒七千メートルの速度がある。遠くなるにつれ爆風とちがつた衰へ方をするが、それでも爆発點から相當離れたときの速度で、小銃弾が鉄を飛び出す速度、毎秒七百七十七メートルを超える。だいたい一発の爆弾にはどの位の弾片があるかといふと、敵の五十キロ爆弾で一グラム以下の弾片が三千箇、一グラム以上が二千箇、五グラム以上七百箇(五グラム以上は人間の體を破壊する力が十分ある)、十グラム以上三百五十箇、二十グラム以上二百箇、五十グラム以上三十箇、百グラム以上が二十箇で、總數約六千三百箇に及ぶ。この弾片の殺傷密度は第三圖表の



通りである。殺傷密度とは一平方メートルに命中する弾片の中で、人體に死傷を與へる弾片の數である。

つまり弾片によつて

500 から 1000
1000 から 2000
2000 から 3000
3000 から 4000
4000 から 5000
5000 から 6000
6000 から 7000
7000 から 8000
8000 から 9000
9000 から 10000

爆風で
爆彈から
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000

爆風で
爆彈から
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000

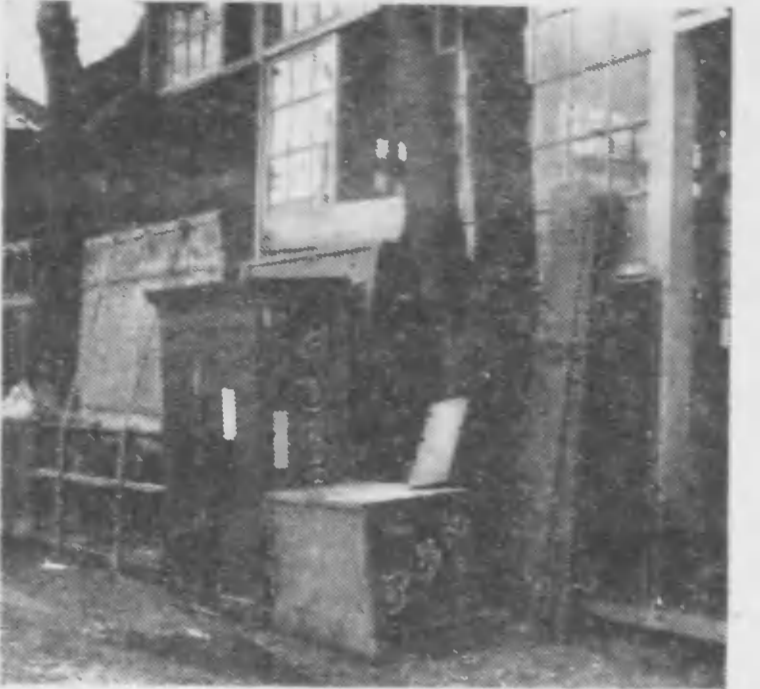
爆風で
爆彈から
250 から 500
500 から 1000
1000 から 2000



この五グラム以上の弾片が一つ突きさすつても命はない。しかも弾片は一秒七千メートルの勢ひで四方へ飛び散る(五〇キロ)

官廳疎開の第一陣 進轉を完了

恩給局
小田原市へ



疎開第一陣の進轉を完了した恩給局の内部の様子。左側は事務室、右側は職員用の机と椅子が並ぶ。背景には大きな窓と扉が見える。



松風と波の音があかんと耳に響く。この建物は、疎開先として選ばれた。周囲には木々が生い茂り、静かな環境が感じられる。

必至の敵機襲撃に備へて、不虞の防空要策を講ずるべき重要都市の疎開は、新年とも早くも活況に動きはじめ。疎開事務所、疎開相談所等の設置をはじめ着々と準備が進められてゐるが、この一般疎開に先立って、昨年十一月一日に発表された中央官廳地方疎開の先頭を切つて、内閣恩給局の神奈川縣小田原市への疎開進轉が去る一月七日、見事に完了した。

しかし、この疎開進轉のかけには、この時局下の資材難、輸送難、住宅難等の困難を克服して、是が非でも疎開準備への移動をやりとげようといふ局員達の断乎たる決意と努力、それにこれを迎へる地元官民の熱心な協力があつたのである。小田原市も郊外に近い網一色の養淡水魚増産指導所を本廳舎とし、そこから徒歩約五十分を要する小田原縣立高等女学校内を第二分室に、さらにここから十分餘を要する大窪國民学校を第三分室にと分散設置し、この間の距離も一里以上といふのをみてもその苦心の程はまさまじさと分らる。業務上の不便と苦勞も察するに類くはない。しかし、戦ふ官廳の面目にかけてもこの不便を克服して、その使命を遂行しようとする局長以下女子局員十三名も



荷解きも人手を惜みず、早急で事務室の整理に局員は大奮闘中。背景には書類や箱が積み上げられており、活気ある作業の様子が伺える。



まじへた九十餘名の轉進部隊は、昨年十二月三十一日まで營業してゐたのを時局の要請に漸く閉店し、宿舍にと提供された三ヶ所の旅館に分宿し、トランク一ヶ、行李一つにつめこんだ身用品だけをもちつて家族に離れ、不自由な生活を忍んで勤務を開始したのである。だが、まだこの疎開第一陣は完全にその目的を達し得たといふわけではない。單身赴任した局員達がいま熱望してゐることは、一時も早く適當な住居を得てその家族も共に疎開して疎開本来の目的を達することであり、また、この疎開に際し、行を共にし得ずして決をわかれたならばならなかつた同僚への情別と遺憾の氣持である。

たゞ、より周到な計畫と強い実行力、固い結束、そして疎開先の全幅の協力、これこそ今後の疎開を成功させる唯一の道であること、この疎開第一陣はその體驗から語るものであつた。

疎開する者も、迎へる方もより一層の熱意をもつて、この戦時配置を一日も早く完成しよう。



片道一時間、職員電車に比べ、何となく快適な通勤だ。背景には窓と書類が見え、静かな作業環境が感じられる。



「さういふことで備へて頭張りませう。その先陣をきつた誇りを何気ない言葉に語り合ふのだ。」



大東亞戦争漫画日記 石川進介



大東亞戦争漫画日記 石川進介

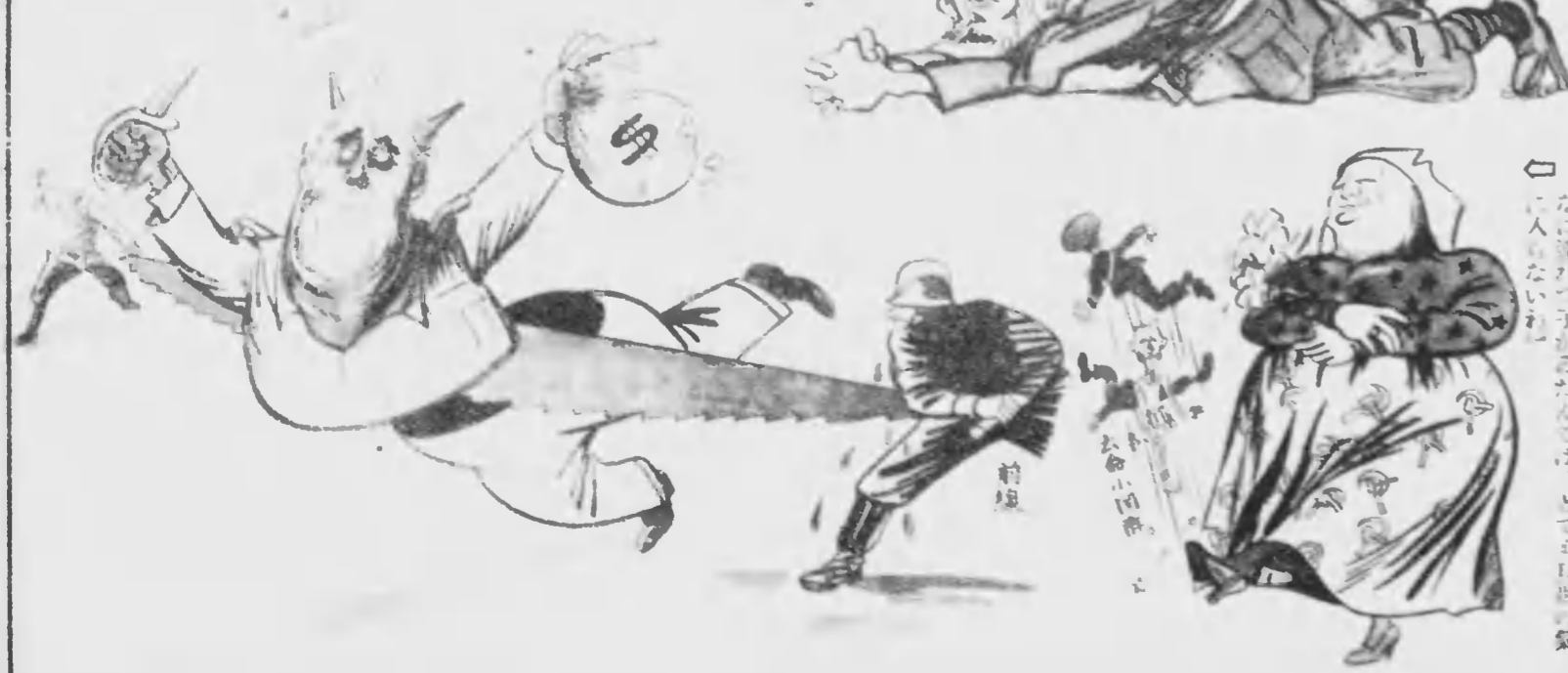
印度防衛の混全軍

昭準器



黄基地の怪事

肉を斬らして骨を切らん!



對ソ論議



感奮をきかして、堂々入校
早期の寒風を衝き、進軍所にて動員準備

の表代校學等中國全
營入期短校學官士科豫軍陸

明日の戦場をめざして、各々學窓に離れ、全國中等學校代表二千名を、陸の將星飛龍の地獄武裝に集結、餘計となく皇軍の眞髓を體得せしめんとする全國中等學校代表陸軍推科士官學校短期入營は決戦の新春を飾つて一月七日から一週間遅く行はれた

代表二千名の健兒は先軍生徒に伍して期間一杯、元氣に猛訓練を重ね、若き胸にわれまを征かんの決意を固めたが、殊に入營第二日の八日には當局特別の計りで、陸軍始戦兵式に陪觀を許され、短期入營に一層の光榮を加へた



身内増をも大評判。先軍にも負けぬ堂々の體態
先軍一年生の激闘、來年くる奴は、手をあげる。ここに全員がサツと腹する



★表紙
雲に覆れ九山中の監視哨。訪れる人もなし、時折り連絡の電話かけたいましく鳴るだけ。その電話さへ、吹雪に途絶えた夜更けの淋しさを哨員はしみんと語る

だが、この人達の凍らない眼か、耳が、防壁の尖塔に立つて國士をがっちり守つてゐるのだわれわれは人知れぬその勞苦を決して忘れてはならない

高等航空機乗員養成所

整備生徒募集



募集要項

募集科

松戸高等航空機乗員養成所整備専修科

應募資格

大正十三年四月二日以降出生ノ甲種中等學校卒業者
(本年度卒業像定者ヲ含ム)

修業年限

二ヶ年

教育内容

一等航空機整備士技術証明書交付ノ豫定

募集ノ切

昭和十九年二月十日

詳細ハ志願者心得参照ノコト

東京都麩町區大手町航空局乗員部
管理課又ハ最奇航空機乗員養成所
普通郵便局ニアリ要郵券四錢

航空局

寫眞週報
(兼無断轉載)

昭和十九年一月十九日 印刷發行
編輯部
印刷局
東京都麩町區大手町
印刷局

所 送 申	價 定
全國各地官報 通報普及部 書店・發賣店 新聞販賣店	一部十錢 (送料一錢) 外埠郵送ニ依 ル地域ハ送料 共ニ加九錢 ▲特大號の場合ハ 其ノ部價印拂込 金ヨリ差額を申 受けます

本誌掲載の寫眞中、攝
影者名或ハは提供者名
を特ニ附してあるもの
は財団法人寫眞協會
の製作によるものです
又、海軍關係の寫眞は
製ハ海軍省承認第五
四二號です

本誌を回覽に
本誌を、購読や職場
で回覽するなど、出
来るだけ有効に御利
用下さい

前線慰問にも
またお読みになつた
ら本誌を前線慰問に
送りませう。送料は
内地と同様で常封あ
るひは開封にして第
二種と明記すれば
一部一錢です

印刷局印刷發行

(対供報選)-A4新規定額はきり大の資本)